

## オランザピンOD錠5mg「JG」の安定性試験(PTPシート)

### 1. 試験目的

オランザピンOD錠5mg「JG」は、PTPシートをアルミピローに封入したものを紙箱に入れている。本試験ではアルミピローから取り出しPTPシート単独で保存したものの安定性を確認した。

### 2. 保存条件、包装形態

保存条件:

25±2°C/60±5%RH 6ヵ月 [遮光]

包装形態: PTP(ポリ塩化ビニル・ポリクロロトリフルオロエチレン積層フィルム、アルミニウム箔)

### 3. 試験項目

性状、純度試験(類縁物質)、崩壊性、溶出性、含量、硬度<参考値>

### 4. 試験結果

	規格	試験開始時	1ヵ月後	2ヵ月後	3ヵ月後	6ヵ月後
性状	黄色の素錠	適合	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
純度試験	※	適合	適合	適合	適合	適合
崩壊性	1分以内	適合	適合	適合	適合	適合
溶出性(%)	30分70%以上	85.4(83.2-86.7)	84.4(83.4-85.7)	85.7(83.8-86.4)	83.8(82.2-85.1)	84.5(81.8-86.3)
含量(%)	95.0~105.0%	99.4	98.8	98.6	97.9	98.5
	[残存率]	[100]	[99.4]	[99.2]	[98.5]	[99.1]
硬度(N)	<参考値>	20.7	20.5	18.4	18.0	20.7

溶出性: 平均(最小-最大) 硬度: 1N≒0.1kgf

※ 試料溶液のオランザピンに対する相対保持時間約0.24及び相対保持時間約0.97の類縁物質の量はそれぞれ0.3%以下、相対保持時間約0.37及び相対保持時間約0.46の類縁物質の量はそれぞれ0.2%以下であり、上記類縁物質以外の量はそれぞれ0.2%以下である。また、類縁物質の合計量は1.0%以下である

### 5. 結論

上記の保存条件において、変化は認められなかった。

なお、本剤の電子添文に以下の記載がある。

#### 20. 取扱い上の注意

開封後は湿気を避けて保存すること。

2024年1月

004